

# 第72回国民体育大会 ウエイトリフティング 少年男子 85kg 級 江端龍生選手がクリーン&ジャーク競技で優勝!!

## 国民体育大会で優勝

10月7日(土)〜9日(月)祝の間、愛媛県で開催された第72回国民体育大会のウエイトリフティング少年男子85kg級・クリーン&ジャーク競技において、高校2年生の江端龍生選手(郷2)が149kgを持ち上げ、見事優勝を果たしました。

スナッチ競技では111kgで第5位、総合成績でも合計260kgで第2位と好成績を収めた江端選手。

11月6日(月)に市役所を訪れ、粟市長に優勝を報告。粟市長が「けがに気をつけて成長を続けてほしい」と激励すると、「少しずつ成長しているので、これからも力を付けていきたい」と意気込みを語り、今後のさらなる飛躍を誓いました。



## 競技を始めたきっかけ

中学1年生の時に父・貴さんの知人の勧めで始めたというウエイトリフティング。貴さんも高校時代に国体を制覇したという経歴の持ち主です。中学時代は陸上部との掛け持ちで活動していた江端選手は、記録が上がった時の達成感からすぐにウエイトリフティングに惹き込まれ、さらなる向上を目指して強豪校の金沢学院高等学校へ進学。

顧問の河原先生は「陸上で培った足腰の強さ、投てきで鍛えた上半身が基礎となり、持ち前のパワーを發揮できる選手です」と期待を寄せます。

## 国体の感想と今後の目標

「今回の国体ではクリーン&ジャーク競技で優勝することができましたが、総合成績では第2位となってしまうました。うれしい気持ちもありますが、やはり総合成績でも優勝したかったです」と悔しさを隠さない江端選手。

今後について、まずは来年3月に開催される全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会での優勝とクリーン&ジャーク競技での大会新記録の達成を目標に、最終的にはオリンピックなどの世界大会に出場したい、と大きな夢を抱きます。



ウエイトリフティングは夏季オリンピックの正式種目としても採用されており、床に置かれたバーベルを一気に持ち上げる「スナッチ競技」、バーベルをいったん胸まで持ち上げ、そこからさらに頭上まで持ち上げる「クリーン&ジャーク競技」の2種目から成っています。競技者はスナッチ競技とクリーン&ジャーク競技でそれぞれ3回の試技を行い、持ち上げた重さを競います。